

主日礼拝

2022年03月20日
午前10時30分前奏 「愛するイエス、何をなされて」(313)
(J.ブラームス)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「慈しみをいただいて、わたしは喜び躍ります。
 あなたはわたしの苦しみを御覧になり
 わたしの魂の悩みを知ってくださいました。
 わたしを敵の手に渡すことなく
 わたしの足を
 広い所に立たせてくださいました。」
 (詩編 31:8, 9)

受難節のリタニー

《受難節第3主日》

司式者：ペトロのように言葉でなくても、私たちは
 行いでイエスさまを否んだことがあります。
 これからはもっと私たちに決心したことを
 行う勇気を与えてください。

会衆：主よ、私たちをあわれみ導いてください。

司式者：ペトロが、主のためには命も捨てると断言
 しながら、3度もイエスさまを「知らない」
 と否んだことを思いつつ、このろうそくを
 消します。(消火)

祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、
礼拝前にお献げください。

主の祈り

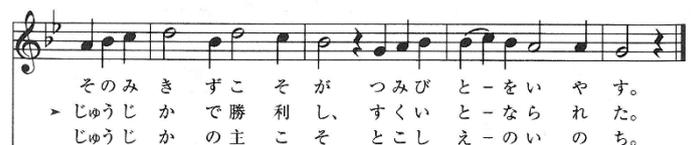
天にまします我らの父よ、
 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
 み国を来らせたまえ。
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ。
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
 我らの罪をもゆるしたまえ。
 我らをこころみにあわせず、
 悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
 なればなり。
 アーメン。

聖書 マルコによる福音書 8：27～33
 新約(新共同訳)p77

イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方
 の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子
 たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っ
 ているか」と言われた。弟子たちは言った。「『洗
 礼者ヨハネだ』とっています。ほかに、『エリ
 ヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人
 もいます。」そこでイエスがお尋ねになった。「そ
 れでは、あなたがたはわたしを何者だと言うの
 か。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」
 するとイエスは、御自分のことをだれにも話さ
 ないようにと弟子たちを戒められた。
 それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみ
 を受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥さ
 れて殺され、三日の後に復活することになって
 いる、と弟子たちに教え始められた。しかも、そ
 のことをはっきりとお話しになった。すると、ペ
 トロはイエスをわきへお連れして、いさめ始め
 た。イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、
 ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。
 あなたは神のことを思わず、人間のことを思っ
 ている。」

賛美 301「深い傷と流れる血に」

Deep were his wounds
詞：William Johnson, 1906-MARLEE
曲：Leland B. Sateren, 1913-

- 1 深い傷と流れる血に
あえぎ悶え、主は苦しむ。
そのみ傷こそが 罪人をいやす。
- 2 あなどられて 世に捨てられ、
責めと恥に 主は耐えられ、
十字架で勝利し、救いとなられた。
- 3 わたしたちを 罪と死より
救うために 主は死なれた。
十字架の主こそ とこしえの命。

説教 「受難を告げる主イエス」

賛美 530(1,2,4) 「主よ、こころみ」

In the hour of trial
詞：James Montgomery, 1771-1854

PENITENCE
曲：Spencer Lane, 1843-1903

主よ、こころみ うくるおり、
いのりたまえ わがために。
こころおそれ まよふときも、
あいのみかお むけたまえ。

- | | |
|---|---|
| ① 主よ、こころみ うくるおり、
いのりたまえ わがために。
こころおそれ 迷うときも、
あいのみかお 向けたまえ。 | ③ わずらわしき 世のわざに、
やるせもなき かなしみに、
なおひそめる いつくしみを
見させたまえ あやまず。 |
| ② 世のたからは 目をうばい、
世のほまれが さそうとき、
十字架の主の みくるしみを
しめたまえ わがむねに。 | ④ 塵より成る このわが身、
塵にかえる そのときも、
主よ、御顔を あおぎ見つ
ゆかせたまえ みもとへと。 |

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「主よ、私をあわれんで下さい」 (G.オールドロイド)

司式 要田 悟史
説教 向井 希夫牧師
奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、

座ったままで礼拝をお守り下さい。

※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。